

【別紙1】

○ オオハンゴンソウ とは

キク科オオハンゴンソウ属の多年草  
開花期は7月下旬から10月  
直径6~10cmの黄色い花をつける。  
花びらは8~14枚。筒状花（花の中心）  
部分は黄緑色。高さ1~2mまで成長



明治中期に観賞用として導入され、1955年には野生化、北海道から沖縄県まで日本全国に定着  
外来生物法により“種子”と“根”が特定外来生物に指定 ※“茎”や“花”、“葉”は指定されていない  
村内では、同じキク科のルドベキアやヒメヒマワリなどよく似ている花も多く確認されています。



【花の形状】

筒状花（花の中心）は黄緑色。蕾み時期から枯れるまで同じ色。著しい変色はない。  
直径1~1.5cm



【葉の形状】

葉は特徴的。下部の葉は長く全長10~15cm  
5~7に深裂し、葉先にギザギザがある。  
上部には葉柄がなく全長2~4cmの葉が  
1、2枚独立してついている。

○ 特定外来生物とは

生態系、人の生命・身体、農林水産業に被害を及ぼしたり及ぼすおそれのある外来生物（侵略的外来種）の中から環境大臣が指定するものです。

許可なく栽培・保管・運搬・輸入・譲渡を行うことは禁止されています。

○ 駆除方法

最善策は地中から「根こそぎ」抜き取る方法です。もし困難な場合は、種子を作る（10月初旬）前に根本から刈り取りをしてください。

刈り取ったオオハンゴンソウはゴミ袋に入れ、燃えるゴミとして出してください。

オオハンゴンソウを拡げないように、種子を形成した花・根の取扱いには十分に注意してください。

セイタカアワダチソウ、オオハンゴンソウなど、地区全体で駆除作業をする際は役場よりゴミ袋と焼却場のカードをお渡ししますので、事前にご連絡お願いいたします。

○ オオハンゴンソウの特徴・よく似た花（ルドベキア・ヒメヒマワリ）との見分け方



ルドベキア  
(駆除対象外)

ヒメヒマワリ  
(駆除対象外)

オオハンゴンソウ  
(駆除対象)

	ルドベキア (駆除対象外)	ヒメヒマワリ (駆除対象外)	オオハンゴンソウ (駆除対象)
花 (筒状花) ※中心部分	濃い茶色	茶色	黄緑色
花 (花びら)	黄色 (成長につれ中心部分から茶色に色付く)	黄色	黄色
葉の色	緑色	深緑色	緑色
上部の葉	小さな歯状	大きな鋸歯状のギザギザ	丸くギザギザがない
下部の葉	上部の葉とほぼ同じ		下にいくにつれ葉に切れ込 下部の葉はヨモギの様に非常に深く裂ける (5~7 深裂)
茎	黒~茶色の毛	ツルツル	ツルツル (やや白く見える)

【オオハンゴンソウの見分け方・特徴】

- 筒状花が黄緑色      ○上部と下部で葉の形状が異なる
- 下部の葉はヨモギの様に深く裂ける (おおよそ5~7の亀裂)

〒399-9301 北安曇郡白馬村大字北城7025番地  
 白馬村役場総務課 企画係 担当：田中・鷺澤  
 電話：0261-72-5000 内線 1112  
 F A X：0261-72-7001  
 総務課 [somu@vill.hakuba.nagano.jp](mailto:somu@vill.hakuba.nagano.jp)